

【取扱い厳重注意】

いるところを直すだとか、要するにそこを確認して、水源をちゃんと確保するという意味で指示したわけなんです。ですから、それと、この DD ポンプと駆動のタイミングについては、もう記憶にないです、はっきり言って。

○質問者 例えば3月の12日とか13日とか、DDFPが1号機は、結局不具合でということなんでしょうけれども。

○回答者 ただ、極端なことを言うと、はっきり言いますよ、私の感覚では DD ポンプはほとんど期待していなかった、3号機も1号機も、はっきり言って、そんなに水源もないし、どうしようもないようなポンプに期待して水を入れるなんて、そんなことを考えるよりは、ちゃんと消防車で入れるという方が確実に入ると思っていましたから、みんな DD のことを言うんですけども、ほとんど私のイメージでは、こんなもの使い物にならないだろうという感覚しかなかったです。

○質問者 仮に DD を使っていこうということになれば、元栓を閉めた後に、配管を修繕して、それで開けてという話になってきますね。そういうような指示を、DD を駆動させてこれでやっていこうというときに、そういう指示をさせて修繕させたという御記憶は。

○回答者 ないです。というか、漏れているということで、だったら、これから先もどこで水を使うかわかりませんから、ろ過水タンクの水位は確保しておくべきだと思って閉めさせましたけれども、さっき言ったみたいに、修理なんか、当時に、あの線量下でどうなっているかというチェックに行かせても行けないわけですよ。だから、逆に言うと、私は DD には余り期待しなかった。

ただ、後で話を聞くと、当直の連中は DD にかかなり期待していたところがギャップであるんですけども、私個人としては、DD なんか余り期待していなかった。ちょっとでも入れればいいなというぐらいにしか思っていませんでした。

○質問者 そうしたら、3号機に戻りますが、3号機で HPCI が止まりましたと、それで、当時はパラでこそ 1MPa 未満という状況があるようですが、いずれにしても3時、4時のころにもう既に 4MPa になっているわけですから、FP ラインから水を入れようにしても入れられないという状況ですね。

このころ、当然、そうは言っても、この時点で注水も、それは FP での注水を考えておられたと。

○回答者 ここが、さっきから全然理解できないんです。ここの3月12日の12時45分から13日の5時までに3号機の圧力がこんなに落ちているじゃないですか、1MPa 割っているでしょう、これは全く記憶にないです。その後また 7.38 まで上がっているでしょう、物理的に下がったものが上がるなんて全然理解できませんもの。

○質問者 これは、例えば HPCI が止まってから水を全然入れていない状況になっていて。

○回答者 だから、逆に上がるはずですもの、下がりませんよ、絶対。

○質問者 下がるというのは。

○回答者 圧力が、HPCI が止まった状態でどうなるかという、と、どんどん逆に崩壊熱があつて、逃がし弁が開かない限り、圧力がこんなに落ちるというのは考えられませんもの。

○質問者 落ちるというのは、どこの部分を指して。

○回答者 ですから、原子炉圧力が21分の2ページで、上の方で 7.53 とかなっていますね、12時10分で、そこからいきなり 5.6MPa になって、1MPa 切っているじゃないですか、そこからまた5時で 7.3MPa まで上がるじゃないですか、この間に落ちているというのは、私の記憶からは全部欠落してい